平成 31 年度　西砂学習館運営協議会（令和元年 5 月）会議録概要

日　時：平成 31 年 5 月 16 日（木）午後 6 時～8 時 20 分
出　席：大槁　加藤　広瀬　進藤　小笠原　長谷川　岩元　小林　森　増田
事務局：石川　俣本
欠　席：なし

1.　開会のあいさつ
大槁：　地域学校コーディネーターと情報交換を予定していたが次回に延期になった。

2.　学校支援コーディネーターについて
①生涯学習推進センターでまとめて依頼をする。すべての学習館で同じ対応とする。学校支援コーディネーターに出席いただくのは 6 月の協議会で調整。
石川：　本日地域学校コーディネーターと情報交換を予定していたが、担当の係長が病気休暇に、代理を予定していたセンター長が忌引休暇の為次回に延期になった。学校支援コーディネーターと地運協の情報交換の機会について全く話題に上がっていない地運協もあるとのこと。ここで全地運協が足並みを揃え、6 月の運営協議会で学校支援コーディネーターと情報交換ができるように、センター長より依頼をさせて頂く。
大槁:7 中学区 3 校の学校支援コーディネーターへセンター長から連絡して頂けるとのこと。
加藤：学校と地域を地運協が中心になり連結するのが良いと企画運営委員会で話がでている。
大槁：各地運協足並みが同じになる。地域が支える学校作りになるのではと思う。

3.　平成 31 年度地域活性化講座について
①　事業計画（案）について
石川：資料 1 参照。 11 月 29 日「傾聴講座」。今まで錦学習館で実施していた講座。研修を兼ねて職員も参加するようにと言われている。資料 2 参照。サマーイベントの内容は別紙参照。内容が固まってきた。パン作りはサークルに確認中。チラシを西砂青少健の総会で配布し、講座の宣伝、寄付やボランティア募集の PR をする。
「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾〈第 2 弾〉」は 1 回目の日程が決まった。内容と 2 回目の日程は後日決める。
「西砂川での災害を考える〈第 4 弾〉」は、前回クッキングで良いのかと話がでた。「認知症講座」は進めたいと思っている。
大槁：サマーイベントは西砂青少健の総会で宣伝する。「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾〈第 2 弾〉」は児童館に協力頂き、11 月 21 日金曜日に決まった。児童館も色々企画しているので、早目に設定するのが大事。また、内容を地域デビ

ューとドッキングさせても良い。
「西砂川での災害を考える〈第4弾〉」はクッキングで良いか。「認知症予防講座」は包括支援センターで面白いプログラムが色々あるので、毎年実施して沢山の方に来てもらえれば良いのかと思う。

加藤：防災クッキングについて。昭和39年新潟地震を経験した。水、ガスが使えない状況でどう工夫して料理を作るかが課題。単なるクッキングではない。

増田：立川市は、首都圏広域防災拠点に指定されている。首都圏防災の責務を負う立川広域防災基地は、立川市民にとってのような位置づけになっているのか、国・都・多摩地区の市町村の財政負担のあり方、立川市の事業継続に向けた取り組み状況などを包括的にみないといけない。

岩元：「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目してタイムラインを市町村や役場が検討し始めている。

進藤：West Waveは避難所体験ができる講座を考えているとのこと。

長谷川：去年も災害が多かった。この地域は3つ避難所があるが入りきれるのか。

岩元：避難所へ行く方は自宅が壊れた方、家にいられない方。皆が来るわけではない。

小笠原：児童館の子育てひろばで毎年防災講座をしている。

大槁：災害時、乳幼児や高齢者にとって食は大事。

岩元：第4弾はクッキングで良いと思う。東京防災の女性版が発行されている。

大槁：内容によっては子育て中の方に声をかけられる。

森：食中毒にならない衛生的な食品の扱い方などノウハウ的なものを教えて頂けたら良い。

大槁：第4弾の内容は幼児から高齢者までの災害時クッキング。衛生的な食品の扱い方も。

大槁：「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾〈第2弾〉」は地域の居場所づくりと合わせて考えていけばよい。

小笠原：前回6組が参加。ものづくりの要望が多い。

大槁：回数を重ねれば違う動きが見えてくる。今年度はリラックス系と座学系を予定。

小笠原：講座をすることでこの地域に児童館や学習館があることをPRできる。

大槁：リラックス系の講座に付加価値をつけて地域を知る方向にもっていくこともできなくなはない。

小笠原：参加者には地域の情報発信はできる。

岩元：最初から地域を知ろうとは参加者は思ってないので、その方達にとってメリットのあるを話して徐々に知ってもらうのが大事。

大槁：West Waveがこのエリアのマップをママ目線で作り始めている。そういうのも合わせていくと、子育て世代のお母さんを支えられる。「パパ・ママの西砂デビュー」は「にしすな夜間塾」にくっつける。高齢者対象講座については、地域を学ぶ内容が

良いのか。去年は横田基地を学んだ。高齢者を支援する講座は常に頭に入れていく。

広瀬：高齢者対象が手薄になっている。おろそかにしてはいけない。限られた予算でやるので、何でも継続するとどこかにしわ寄せがきてしまう。

大槁：地域の再発見「ようこそ！西砂へ」は松明祭映像を見ながら地域の歴史を学び、高齢者もそこに呼び込むこともできると思う。鈴木先生のお話は繰り返し聞いても楽しい内容。参加者も変わるので同じ内容で実施しても良い。

小林：鈴木先生はもう講座は出来ないとのこと。

大槁：高齢者の出席率が高いのは歴史関係とアンケートであった。「ようこそ！西砂へ」とうまくドッキングして講座が開けたらと思う。

4.　報告及び連絡事項

①　前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局まで。

②　西砂学習館まつりに展示する地域学習館運営協議会の紹介パネルについて

大槁：地運協が皆さんの地域デビューを支援している団体と伝わるように制作。

増田：このパネルにより地運協の活動内容と目指す役割をとてもよく理解していただけると思う。

加藤：素晴らしいパネルができた。社協のあいあい通信にも素晴らしい記事が載っていた。

大槁：活動の内容を替えれば来年も学習館まつりで使える。

③　フリースペースについて（報告）

小林：5 月 5 日柏餅を作り、子ども達に柏の葉を知ってもらった。係長が参加。捏ねるのが大変だった。18 日民生員とのお楽しみ会。お団子を作る。

大槁：4 月 20 日フリースペースでチャーハンを作った。

<5 月 18 日参加>森　大槁　進藤　小笠原（子ど 3 名引率）　森　石川　俣本

④　各委員から報告及び連絡事項

加藤：「交流クッキング」について。今までは柴崎学習館で実施していたが、評判が良く、西砂学習館でも実施することが決まった。日程は 11 月 30 日土曜日。先日講師と打合せをした。テレビチャンピオンで優勝したり全国的に活動している素晴らしい講師。地運協のご協力の元実施したい。課題は子どもの材料代。子どもの年齢に合わせて実費を頂くことになった。

小笠原：乳幼児のママが喜ぶ講座。

増田：立川市内中学 2 年生対象に財政に特化した授業を行うべく教育委員会を通じて他の団体と協働して進めている。真如苑の社会交流の助成金を頂けることが決まってい

る。

森：4 月 23 日～25 日「パソコン文書作成講座」を柴崎学習館で実施。ゼロからはじめるパソコン講座の内容と言われていたが、途中からスキル講座に変更。活発に質問して頂けて良い講座になったかと思う。

小林：とくにありません。

岩元：文化会では 5 月 6 日「お茶摘み体験」を実施。子ども、父兄が沢山参加。西砂小校長、副校長も参加。総勢 70 名。8 月末はカラオケ大会、11 月に文化祭を予定。

小笠原：5 月 5 日「子どもの日スペシャル」で柏餅作りをし、カレーをふるまった。柏の葉の説明ができて良い経験になった。今年中学 1 年生になった子がお手伝いをしてくれ、とても成長していて感動した。

長谷川：青少健の活動は 5 月 11 日麦の網掛けを実施。6 月 11 日松中小、西砂小の 6 年生が麦刈を行う。その後麦は業者にお願いをし小麦粉にしてもらう。5 月 18 日青少健の総会を予定。

進藤：かみすな地域包括支援センターから「認知症サポーター養成講座」、「かみすな包括出張講座」のチラシを預かった。5 月 18 日「ペットと飼い主のための防災講座」4 回講座で予定。今地域に繋がってない方にどう出てもらうかを考えて企画。夏体験ボランティアが始まったら学習館に連絡をする。

広瀬：6 月 8 日「広辞苑編集の表と裏」講演と映画会「舟を編む」を予定。申し込み初日で 120 名の申し込みがあり、現在 170 名。7 月 13 日、20 日、8 月 31 日、9 月 7 日、21 日の土曜日「クラシック音楽入門講座」を予定。今回で 10 回目。2 回生演奏を予定。

石川：学習館まつりのガイドブックができた。

5.　その他

※次回開催；次回は、6 月 13 日（木）午後 6 時～　西砂学習館